

競技規則の改正

(f) 競技規則の明確化および軽微な変更を正式に競技規則化する

- 8.14 コンバージョンにおける相手側 (ルーリング 2020-1 を条文に反映)

相手側のプレイヤーは全員、キッカーがボールを蹴ろうとしてどの方向であれ動き出すまで、自チームのゴールラインまで下がる。キッカーが近づき始めたら、ゴールを阻止するために、チャージしたりジャンプしたりしてよいが、その際、他のプレイヤーに体を支えもらったりしてはいけない。

- 第9条「不正なプレー」(ルーリング 2022-3 を条文に反映)

9.11 プレーヤーは、無謀な、または、他者に対して危険な行為はいかなるものもしてはならず、これには肘や前腕を出す行為、あるいは、タックラーに向かって飛びかかる行為、または、タックラーを飛び越える行為を含む。

- 第12条「キックオフと試合再開のキック」(矛盾したインゴール関連における判定の明確化)
世界的試験実施ルール 12.12

以下の場合、ゴールライン地点でのドロップアウトによってプレーが再開される:

a. 攻撃側のプレイヤーによってボールがプレーされた、または、インゴールに持ち込まれ、その後、相手側のプレイヤーによってヘルドアップとなり、グラウンディングされた、あるいは、競技規則に反することなくデッドにされた。

注記) 現行では、攻撃側のプレイヤーによってインゴールの中にボールが蹴り込まれ、防御側がグラウンディングし場合はゴールラインドロップアウトである。ボールが攻撃側によってインゴールに持ち込まれ、防御側がリフしてグラウンディングした場合は22メートルドロップアウトのシナリオとして、現行のゴールラインドロップアウトとなる理由の対象外である。これはチャージダウンによってフィールドオブプレーからインゴールに入り、デッドになった場合も含む。

- 第15条「ラック」(ルーリング 2022-2 を条文に反映)

15.16 プレーヤーは以下のことをしてはならない:

d. ボールが地面の上であり、ラックに近い時に、出てきたボールの上に倒れ込む、または、被さる。

- ・ 第 16 条「モール」 (2016 年の競技規則適用のガイドラインを反映)

- ・ モールの形成

16.2. モールは、ボールキャリアーと各チームから少なくとも 1 名ずつのプレーヤーが互いにバインドし、立ったままの状態になることで成立する。ボールキャリアーからボールを奪ったプレーヤーは、ボールを運ぶまでそのプレーヤーと接触していなければならない。罰：ペナルティ

- ・ モールの最中

16.10. モールの中にいるプレーヤーは全員、モールの中に引き込まれているか、バインドされていないなければならない。ボールを保持しているプレーヤーは、モールの中で、横や後方に移動してはならない。罰：ペナルティ

- ・ 第 21 条「インゴール」

(19.1 および 12.12 との齟齬の解消、また、ルーリング 2022-1 を条文に反映)

- ・ ボールヘルドアップインゴール (世界的試験実施ルール)

21.16 インゴールにおいてボールキャリアーがボールをグラウンディング、または、プレーできないように止められてしまった場合、ボールはデッドとなる。どのようにボールがインゴールに入ったかによって、ゴールライン地点でのドロップアウト、または、5メートル地点でのスクラムでプレーを再開する。(競技規則 12.12a、および、19.1 の 5 行目)

- ・ その他の軽微な条文変更

- ・ 3.16 アンコンテストスクラム (明確化)

フロントローが、負傷、一時的退出、または、退場によって競技区域を離れた場合、レフリースは次のスクラムの際に、そのチームに対してコンテストスクラムを続けられるかどうか確認する。もしコンテストスクラムはできないと申告されたら、レフリースはアンコンテストスクラムを命じる。プレーヤーが戻った、あるいは、他のフロントローが出てきた場合は、コンテストスクラムを再開する。

- ・ 3.34 自由入替え制

「7 人制競技規則」において「34.を削除」の記載を削除。

- ・ 第 4 条「プレーヤーの服装」 (競技規則上での性別による差をなくす、モニタリング機器の使用を競技規則化する、および、2021 年の競技規則の改正による追加の条文変更のため)

4.3 追加着用を認められているのは、以下のものである:

e. ショルダーパッド、または、認められている胸パッド。

1. ヘッドスカーフ、または、カバー。ただし、着用者または他のプレーヤーに危険を及

ぼさないもの。

m. プレーヤーモニタリング機器。

4.5 プレーヤーは、以下のものを着用してはならない：

f. パッドが縫い込まれたパンツ、または、レギンス。

- 第 13 条 オープンプレーにおいて地面に横たわっているプレーヤー (2018 年の条文の簡素化に伴うもの)
13.3 ボールがないのにフィールドオブプレー内の地面に横たわっているプレーヤーはプレーできず、以下のことをしなければならない：

- 第 18 条「ラインアウト」 (他の条文との一貫性のため)
18.25 いかなるプレーヤーもボールの投入、または、ボールが5メートル移動するのを妨げてはならない。罰：フリーキック

- 第 21 条「インゴール」 (条文の明確化)
21.10 タックルされたプレーヤーが、手を伸ばしてボールをグラウンディングしてトライ、または、タッチダウンしようとした場合、防御側のプレーヤーは、ボールを後方に叩く、または、そのプレーヤーからボールを奪うことができるが、ボールを蹴ったり、蹴ろうとしたりしてはならない。 罰：ベナルティ

世界的試験実施ルール

(a) ブレーキフットの世界的試験実施ルールを採用する

- ・ 定義への追加：

ブレーキフット(Brake foot)：フッカーが、安定性を高めるため、また、軸方向への負荷を避けるため、トンネルの中央で片足を前方に置くこと。エンゲージメントシーケンスの「クラウチ」および「バインド」の間を通してずっとこの位置に置く。その足を引くのは、「セット」の後、そして、ボールに当たる前でなければならない。

- ・ 第19条 スクラムエンゲージメント

19.10.c. フッカーは、安定性を高め、軸方向への負荷を避けるため、足は「ブレーキ」フットの位置に置かなければならない。

19.12 両チームとも、まっすぐ、安定して、動かなくなったら、フッカーの足はブレーキフットの位置のまま、レフリーが「セット」とコールする。

- a. フッカーがブレーキフットの位置の足を外し、そのうえで初めて両チームが組み、スクラムの形成が完了し、ボールが投入されるトンネルができる。

(b) メディカル、テクニカルゾーン、および、ウォーターキャリアーのプロトコルを改正し、世界的試験実施ルールとする

- ・ 第6条「マッチオフィシャル」

追加人員

競技規則に従わない追加人員は、警告、または、退場を命じられ、大会主催者により不行跡として通告される場合がある。

6.28 適切に訓練され、かつ、応急処置、または、(ピッチサイドにおける) 救急処置の資格を持つ者は、立ち入り及安全な時であればいつでも、負傷したプレーヤーを看護するために競技区域に立ち入ることができる。

- a. メディカルスタッフは2名までとし、ピッチの両サイドに1名ずつ配置され、プレーを追ってよい。
- b. メディカルスタッフは、自分が治療をしているプレーヤーに対してのみ、水を運び、与えることができる。
- c. メディカルスタッフは、プレーの進行中にボールを受け止めたり、ボールに触れたりしてはいけない。

罰：プレーが再開される地点でのペナルティ

6.29 適切なタイミングにおいて、以下の者は、プレーヤーを妨害しなければ、競技区域に入ることができる：

a. 指名されたウォーターキャリアー2名が、プレーヤーが負傷してプレーが中断している間、または、トライが得られたときに立ち入ることができる。

i. スコッドの人数が23名の試合では、指名されたウォーターキャリアー2名は、認められた給水時間のみに立ち入ることができ、立ち入ることができるのは、サイドラインマネージャー/第4オフィシャルの承認を得たうえで各ハーフにつき2回までとする。ウォーターキャリアーはコーチングを行ってはならない。(注意：暑さ対策のガイドラインでは、各ハーフにおいて追加でさらに1回のウォーターブレイクを認めている。)

ii. プレーヤーは、テクニカルゾーン、および、自陣のデッドボールラインの外においても、給水してよい。もしも水がインゴールに残っていたら、これらの場所での給水はできなくなる。

b. キックティーおよびウォーターボトル1本のみを（キッカーが使用することのみを目的として）運ぶ者が、チームがゴールキックを選択したことを示した、または、トライをした後、立ち入ることができる。

これらの追加人員は、上記で認められたフィールドオブプレーに立ち入る前は、常にテクニカルエリアに留まっていなければならない。テクニカルエリア内を含め、ボールがプレーされている最中に、ボールを受け止めたり、ボールに触れたりしてはならない。

罰：プレーが再開される地点でのペナルティ

30. いかなる追加人員も、プレーヤーの治療に関わるメディカルスタッフを除き、マッチオフィシャルに近づき、話しかけたり、コメントを向けたりしてはならない。

(現行の6.30の条文は、6.31となる)

・ 定義への追加：

テクニカルゾーン/エリア(Technical Zone/Ara): 競技規則第1条に示された指定区域のことで、交替のプレーヤー、ウォーターキャリアー、および、コーチが、求められるまで待機していなければならない場所。スコッドの人数が23名の試合では、ウォーターキャリアーのみがテクニカルゾーンに入ることが認められる。

不行跡(Misconduct): ワールドラグビーの競技に関する規定第18条の違反、または、大会主催者が定める同等の規定の違反。